

第5回検討委員会の内容

実施時期及び新校名選定方法が決定しました。
 今後は、小委員会で新校の名称や通学安全などを検討することになりました。

冒頭、各委員から実施時期及び新校名選定方法について所属団体にて検討した結果を報告しました。
 次に、小委員会の構成等について事務局から試案の再提案がありました。今後、追加委員の推薦について調整し、小委員会での検討・協議が行われます。



第5回検討委員会：平成16年12月15日(水)：栄区役所

1 実施時期について

矢沢小+犬山小の統合時期は、平成18年4月とする。

再編後の新校の設置場所は、現犬山小とする。ただし、犬山小の全面改修を短期間に実施するため、平成18年度1年間は、矢沢小に仮移転する。
 工事終了後、平成19年度(予定)に現犬山小の新校に移転する。
 平成17年度は、両校の教育内容、行事等を調整し、十分な事前交流を図る。

関係する学校、PTA、自治会からの意見・要望

< 矢沢小関係 >

アンケートによると実施時期については原案どおりで異論はなかったが、通学安全と校舎の安全について十分な配慮をしてほしいという意見が多く寄せられた。

大筋では反対はなかったが、矢沢小に1年通学する場合の犬山小児童のスクールバス運行を含めた安全対策、新校にスクールカウンセラーを常駐させてほしいこと、新校舎の竣工が遅れた場合の統合時期やシックハウス対策等環境検査の公表してほしい等多数の要望があった。

< 犬山小関係 >

大きな反対は学校の方に入っていない。矢沢小に引っ越しの手順はこれから職員と詰めていく。1年間矢沢小に通学する際の安全対策、坂の下から通学してくる児童(特に低学年)への配慮、新校舎の完成が平成19年4月なので、その時期を統合時期にすべきという意見もあったが、全体的な視点から考えていく必要がある。校舎改修についての保護者説明会開催の要望も出ている。

アンケート回収率は12%だった。提案についておおむね賛成と考えている。反対意見としては、仮移転に反対、新校舎移転時を統合時期とすべき、交流が十分でないのでは早いのではないかとあった。実施時期は仮校舎でも新校のスタートがわかるようにすべき、また、上郷中に間借りができなくなった理由の説明、集団登校に加え集団下校を考えてほしいという要望があった。

ご説明することにより、今後の検討が効率よくいくと思われる質問にわかる範囲でお答えする。

矢沢小への一時移転(無人状態)が可能なら、工期は1年と建築局に確認している。矢沢小への一時移転をしなければ、工事は部分工事としてやらざるをえず、工事していない教室等に移動しながらの学校生活になり、2~3年の工期となる。また、中学校の備品は中学生用であり、トイレ、机椅子等施設面で小学生には問題が生じる場合も考えられる。

シックハウス対策については、議会でも取り上げられ、調査の結果等情報は公開している。今後、改修に関する説明会は、建築局の専門家を交えて開催していくことになると考えている。

また通学安全については、今後の課題として、引き続き検討していく。

< 自治会関係 >

矢沢小のコミュニティハウスは、犬山小の児童が矢沢小に一時移転したら使えなくなるのか。個別支援学級はどうなるのか。体育館の活用は制限されるのか。(災害時等において)

犬山小の児童と合わせても12学級なので、コミュニティハウスの使用を制約せずに済むと考えている。

必要な教室なので、継続することを検討する。体育館は災害時には必要な施設となるので、拠点となるところには耐震補強を施している。今後学校施設として使われなくなった学校については、跡利用として防災の観点からも検討していくことになると思う。

新校舎のレイアウトについてはどの程度聞き入れてもらえるのか。

現時点では、統合時期の方向性が出ていないので、検討することができない。18年度実施ということになれば、17年度に設計に入ることになる。その前に、説明会を開催することを考えているが、技術的な話となるので、建築局と相談しながら、進めて行くことを考えている。以前要望のあった職員室から校庭が見えにくいという点については、すでに建築局に伝えてある。

野七里小 + 上郷南小の統合時期は、平成 18 年 4 月とする。

再編後の新校の設置場所は、現上郷南小とする。
平成 17 年度は、両校の教育内容、行事等を調整し、十分な事前交流を図る。
ただし、実施に向けては、統合時期までに、野七里小保護者から心配が出ている通学安全対策に十分配慮することとする。

関係する学校、PTA、自治会からの意見・要望

< 野七里小関係 >

合同説明会実施後のアンケート結果から、通学安全に関しての要望が多くあったので、学校としてはハード面（横断歩道、歩道橋等）とともにソフト面（集団登下校指導、交通監視員等）のシミュレーションを上郷南小とともに考えていこうと思っている。

通学安全から考えると 18 年 4 月実施は早いという意見があった。明確な安全対策が提示されないので、再編には反対という意見もあった。地域を含めたアンケートの実施をすべきという声もあった。

< 上郷南小関係 >

180 家庭数で 53 件の回答、30%の回収率ということで報告させていただく。実施時期については、この案におおむね賛成であるということで 70%の方々から回答がなかったと解釈した。

回答のうち、18 年実施賛成が半数以上であった。ただ、野七里小児童の通学安全については、本校保護者も危惧しており、できれば、この問題が解決していることが望ましいという意見もあった。この問題については、できるところから解決していこうと学校も PTA もあわせて考えていくことも大切だと思っている。

準備期間が短すぎるという意見があったが、これは逆に準備ができれば OK と読みとれる。就学時健診時に校長から保護者に説明したが、特段の意見はなかった。

通学安全については、PTA として全力で協力していきたいと思っている。

< 自治会関係 >

西ヶ谷ハイツ自治会としてもアンケートを実施したが、環境整備と通学安全要望が多かった。野七里小は防災拠点となっているので、残してほしいという意見があった。

上郷町内会からは 3 校に通学させている。自治会の会合ではこの件については意見がないので賛成と考えている。

安全対策が、この 2 校の実施時期を考えるうえでのポイントだと思うが、18 年実施を決めて小委員会にて安全対策を詰めていくという方法と、安全対策が見えてこないので実施時期が決められないということであれば、引き続き継続審議という方法があると思うので検討していただきたい。

18 年を目標ということにして、さらに小委員会で継続して議論していく方向でまとめていくのはいかがか。矢沢小と犬山小の実施時期は先程決まったが、この区域から矢沢小 + 犬山小の統合校に行きたいという要望があるので、ここで統合時期の足並みが乱れてしまうと、学区の調整が難しくなる。

学区の一部変更が可能なら保護者の意見も変わってくると思うが。

18 年 4 月という目途があれば、両校間の交流、教育内容の検討等がより具体的に進むと思う。

上郷西連合区域の中での学区には野七里小も一部含まれており、年間行事などでは、いつもこの 3 校に参加してもらっている。部分的ではあるが、3 校での融合、交流で仲良くやっている実態からみても 18 年 4 月統合というきちんとした目標を決める方向で進めていただきたい。

公田小 + 桂台小の統合時期は、推計上は当面、両校とも適正規模の範囲内であるため、今後の児童数の減少傾向をみながら検討する。

関係する学校、PTA、自治会からの意見・要望

< 公田小関係 >

「児童数の減少傾向をみながら」とは具体的にどのような状況を考えているのか。

その後の宅地造成・開発後の転入者数を見極められる時期になってから検討するということがよいのか。

今後児童数が減少して実施時期が検討されても、安全な通学路ができていないときには、再編統合の時期を考慮してもよいのか。

公田小学校区のうち、本郷中学区の児童の本郷小への編入は可能か。

児童数の推計は、宅地開発等の調査を含めて毎年実施している。今年出された数字が固定化されていくものではないので、児童数の減少傾向をみながらという表現にしている。今年は両校とも一時的にせよ 12 学級であるので、そういう提案をした。地域からの意見は尊重するが、公田小の地域で反対の意見があったのでこの案を出したということではない。新聞に先送りという記事が出たが、現在の規模が、他の 4 校とは異なるということでの提案である。

宅地開発の状況については、毎年見極めている。見極めているなかで、単学級が早い時期で出てくるなら、検討のスピードも早めた方がよいと思う。

教育環境の向上という観点から、今考えられる安全対策について検討していく。新しい道路ができてから小規模校再編を考えていくということではなく、道路形状が変われば、それに対応した安全対策を追加、変更するという考えでいきたい。

学区の一部変更については、後刻、参考資料としてお見せしたい。

< 桂台小関係 >

アンケートによると原案を前向きにという意見が多かったが、通学安全対策は、是非必要だ。240家庭数63の回答のうち20家庭が「案のとおり」、「足並みをそろえるために早い時期に」が20家庭であった。保護者としては、通学安全問題がクリアされない限り統合という気持ちになれないと思う。交通量の調査をしてみたので、参考資料として配付する。

< 自治会関係 >

荒井沢に墓地、特別養護老人ホームの建設計画がある。トラックを1日160台通したいという建設会社からの依頼があった。関係自治会長と相談し、認められない旨の返事をしたが、この施設が完成した後も、そこに出入りする車があるだろう。環状道路のことだけでなくことを考慮した方がよい。

公田小と桂台小については、他の組み合わせと異なり、規模が現在のところでは適正規模の範囲であるが、推計では、減少傾向にあるので、他の4校と一緒に検討していこうという経緯があった。この地域は、刻々と変わってきている状況があるので、実施時期を決めるのは時間を要すると判断する。この両校については、さらに小委員会のなかで継続審議をして皆さんから意見をいただき、また、全体会に戻していただく。

実施時期については、上記のとおり了承されました。



2 新学校名の選定方法（案）について

意見集約の方法は、「候補名を例示するが、自由記載」とするアンケート方式とし、子ども・保護者については学校が、地域については自治会が集約する。

周知と決め方の詳細については、小委員会で検討する。

周知の方法について、関係する自治会とどのように調整するのか。

小委員会には事務局も入るので、集約方法等については、進めやすい方法になるよう事務局がサポートする。各学校でのアンケートで出てきた名前を考慮した上で検討するということがよいか。

アンケート結果を小委員会で見ていただき、その中のものを例示として使うとか、学校によっては、回収率が低いところもあるので、改めて募集するなど、多くの方に考えていただければと思う。

3 小委員会について(案)



1 概念図



2 検討事項

- 1 新学校名（案）について
- 2 通学安全について
- 3 教育内容について

3 構成

- ・自治会・町内会関係、PTA会長、学校長
- ・（ ）内は、小委員会が必要と認める者で、
自治会関係者 1～2名（各連自治会からの推薦）
PTA関係者 各学校1名（PTAからの推薦）

	矢沢小+犬山小	野七里小+上郷南小	公田小+桂台小
自治会 関係	黒木委員	三浦委員	鈴木委員
	阿部よ委員	角田正委員	梅津委員
	武田委員	坂本委員	細田委員
	宗高委員	北條委員	白石委員
	() ()	() ()	() ()
PTA 関係	益田委員	山本真委員	広澤委員
	()	()	()
	石川委員	角田厚委員	山本克委員
	()	()	()
学校関係	上原委員	阿部述委員	若林委員
	酒井委員	小島委員	中礼委員
	相澤委員	渡辺委員	甲斐委員

4 開催方法

平成17年1月以降、状況に応じて開催する。

小委員会については、事務局案をベースとし、次のことが追加で決まりました。

各連合自治会から代表として出ている委員で、所属している連合自治会と再編統合する学区が異なる場合は、両方に参加する等、柔軟に対応する。
 跡利用の要望については、小委員会で出た意見を参考に全体会で検討する。
 開催日は、別途調整する。

これまでに出された「統合に合わせて学区を変更してほしい」という要望に基づき、次の資料が示されました。



通学区域の一部変更について

検討地域	人 数		現行	再編後	要望
	児童数	幼児数			
西ヶ谷団地・西ヶ谷ハイツ	100	128	野七里小	野七里小 + 上郷南小	犬山小 + 矢沢小
湘南桂台の一部	60	40	矢沢小	矢沢小 + 犬山小	桂台小 + 公田小
朝日平和台	約40	約30	公田小	公田小 + 桂台小	本郷小
椎郷台・桂公田の一部	約70	約50	公田小	公田小 + 桂台小	(本郷小)

H16・5・1現在数

この変更要望については、関係校との調整が未着手のため、資料は慎重な取り扱いをすることとし、具体的な学区変更は今後検討していくことになりました。

栄区小規模校再編検討委員会の経過・横浜市の基本方針等は
 ホームページでもご覧いただけます。

- * 横浜市教育委員会HP
- ・ 基本方針等：<http://www.city.yokohama.jp/me/kyoiku/gakku/gakku.html>
- ・ 栄区小規模校再編検討委員会：
<http://www.city.yokohama.jp/me/kyoiku/gakku/shoukibo/index.html>

栄区小規模校再編検討委員会では、常に皆様からのご意見をいただいております。
 FAXかEメールにて事務局までご連絡ください。

- ・ 栄区小規模校再編検討委員会事務局
 横浜市教育委員会事務局学校計画課

TEL：671-3253 FAX：651-1417

Eメール：ky-sakae@city.yokohama.jp

